

三保松原文化創造センターの概要

平成31年 1月30日

静岡市 観光文化交流局 文化財課

1 建物の概要等

(1) 施設の目的

三保松原の文化的価値を高める関連文化の創造を図るとともに、来館者に名勝及び世界遺産である三保松原の価値や魅力の発信、観光情報の提供、松原の保全に係る普及啓発を図る。

(2) 施設概要

住所：静岡市清水区三保1338番地の45

延床面積：1143.73㎡ 構造：鉄筋コンクリート造一部鉄骨造2階建

建物完成：平成31年1月15日（市へ引き渡し）

開館：平成31年3月30日

開館時間：年中無休 9：00～16：30

運営：直営方式

(3) オープニング式典

平成31年3月30日（土） 式典：10：00～

内覧：11：00～

開館：13：00～

(4) オープニングイベント

平成31年3月30日（土）13：00～3月31日（日）16：30 企画展、講演会ほか

〔清水羽衣公園〕



三保松原文化創造センター



1階 展示室イメージ



2階 図書・体験コーナーイメージ



2 文化創造センターの施設

1階には、三保松原を文化や芸術、景観などの視点で発信する展示室や三保松原関連商品を販売するミュージアムショップを配置しています。また、2階には老齢大木の切り株、マツで作った楽器などの実際に触れられる展示を行うほか、松原保全の拠点となる松原保全事務所を置きます。



【展示室】
三保松原の価値や魅力を信仰、芸術、羽衣伝説等の視点で解説。



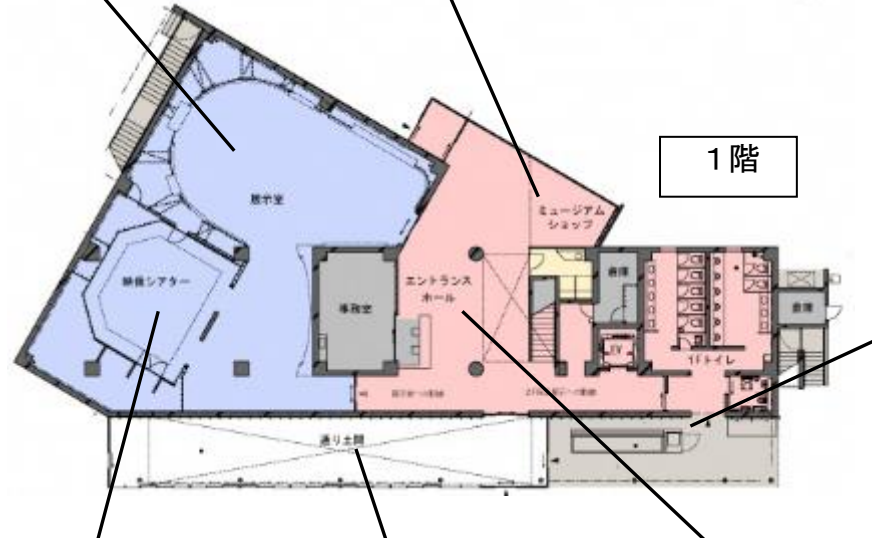
【ミュージアムショップ】
三保松原の関連商品等を販売。



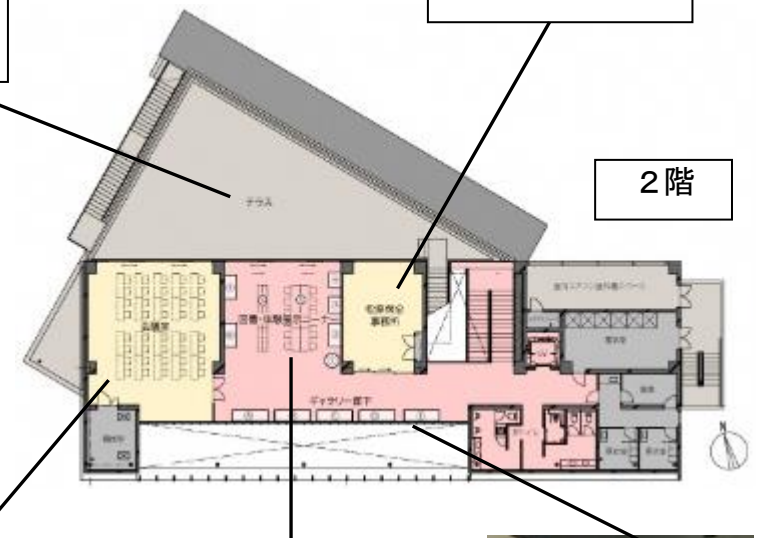
【テラス】
マツノマダラカミキリなどの実物展示のほか、松原や富士山を眺めながら休憩するスペースを設置。



【松原保全事務所】
松原の保全を担う組織が使用。



【足湯】
静岡農業高校が開発した松葉の入浴剤を使用。



【映像シアター】
三保松原の自然や景観、文化的背景などを解説。



【通り土間】
市産木材を活用したセンターへの導入路。



【エントランス】
展示室の受付、観光案内を配置。



【会議室】
三保松原に関わる講演会、研修会に使用。また、一般に有料で貸出。



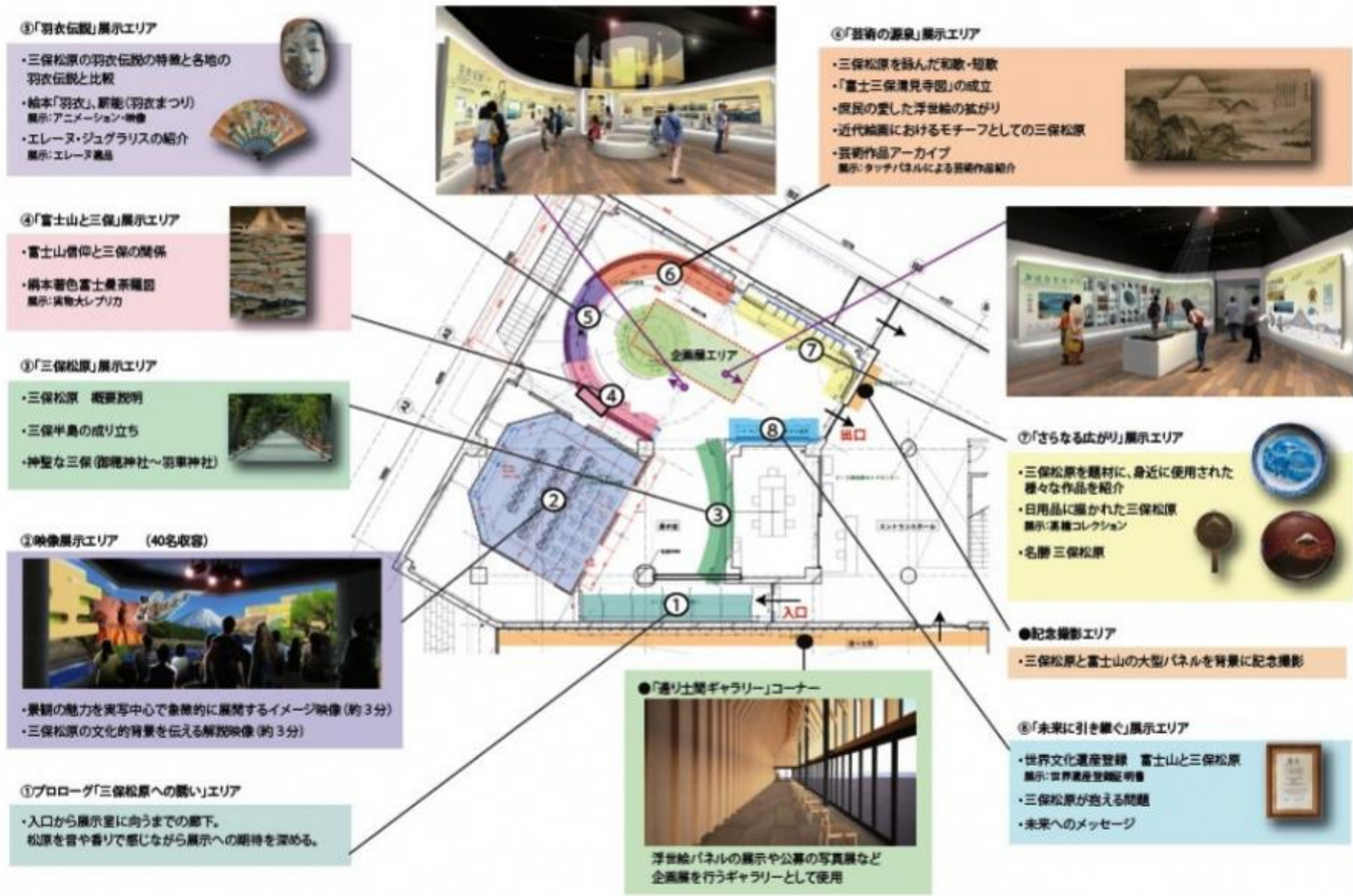
【図書・体験展示コーナー】
実物に触れられる松原保全の展示。三保松原に関連する書籍、古文書の配架。



【ギャラリー廊下】
世界の松ぼっくりや松原に関するパンフレットなどを配置。

4 文化創造センターの展示

(1) 1階展示室



(2) 2階図書・体験展示コーナー

会議室 (40名収容)



●図書・体験展示エリア

- ・松葉、幹の模型
- ・ワークショップ体験など、松葉やまつぼっくりを使用した工作体験
- ・三保松原の関連書籍を揃え、どなたでも閲覧頂ける図書コーナー
- ・三保松原の関伐材を使用した楽器展示



①「松の生態」展示エリア

- ・松の生態
- ・世界の人々の身近にあるマツ属
- ・松のつくり
展示: 樹葉集(マツの樹園)
- ・マツ材線虫被害とその対策
展示: モニター動画
 - 伐倒処理、薬剤散布、樹幹注入
 - 清掃活動
 - 活動研究 材、菌、線虫、昆虫
 - 普及活動
- ・モノリス(地層断面 剥ぎ取り標本)
- ・マツを守るために



③「三保と松」展示エリア

- ・松と日本文化
(吉祥紋と能舞台)
- ・三保の松
(クロマツとアカマツの違い)
- ・羽衣の松・龍の松(三保年表と年輪の比較)
展示: 龍の松



④「三保の人々の生活」展示エリア

- ・三保に住む人たちの歴史紹介
- ・三保に暮らし始めた人びと
展示「宮道集時発願 釣り針」
- ・三保の農業
- ・三保の製塩・海苔・真珠産業
- ・三保の近代化
(国鉄 清水港線・清水灯台・羽衣橋)
- ・貝島御殿～最勝閣



X1

会議室

三保松原
保全事務所

②「標本」展示エリア

- ・世界の松ぼっくり
- ・マツノマダラカミキリ
- ・三保のシウロウ
- ・三保の植物
- ・昭和の三保 絵はがき



●「保全関係」エリア

- ・保全に関するパンフレット設置
- ・松原アワード上位入賞者
- ・各団体の案内冊子・活動紹介

